

道産カラマツによる高品質な柱材の製造技術を開発

背景

- ・カラマツはねじれや割れが発生しやすく、住宅構造材の利用は極めて少ない
- ・カラマツの構造材利用に適した新たな乾燥技術が必要

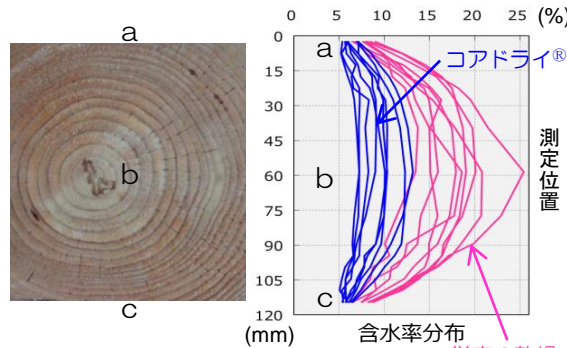
成果

乾燥技術の開発

高品質化に向けて

- ① 内部まで均一な乾燥
- ② 表面割れ、内部割れの抑制
- ③ 寸法安定性の向上

新たな乾燥技術 「コアドライ®」

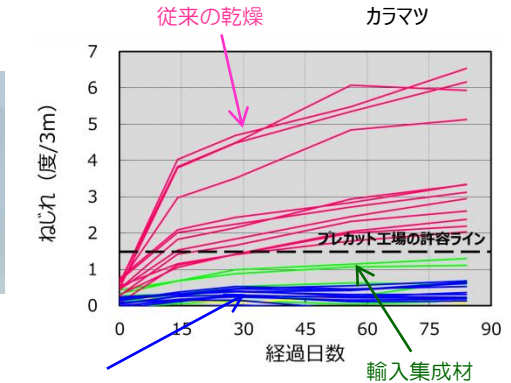


① 均一な乾燥



表面割れ コアドライ® 内部割れ

② 割れの抑制



コアドライ®

③ 寸法安定性の向上

成果の活用状況

- ・連携協定*による地域施設への活用が図られている。
*高品質な乾燥技術の普及推進に関する協定（栗山町ドライウッド協、むかわ町、苫小牧市森林組合、林産試験場）
- ・道央圏等でコアドライ®が生産されている（計画：年間住宅180棟分）。
- ・コアドライ®の生産事業者認定制度が運営され、JAS製品として道外へ出荷されている。
- ・国土交通省国土審議会で、コアドライ®による木材製品の高付加価値化が事例として取り上げられた（平成27年3月）。

※特許出願：特願2014-42107（平成26年2月：北海道立総合研究機構）
商標登録：商願2014-18928（平成26年2月：北海道木材産業協同組合連合会）



施設への活用
（鶴川放課後子どもセンター）



コアドライ®製品
（栗山町ドライウッド協同組合）



JAS製品としての道外出荷
（機械等級区分構造用製材）



国土審議会資料